

平成14年度下半期 平成14年10月1日～平成15年3月31日

グラフでみる市の財政運営の状況

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民のみなさんの税金などによってまかなわれています。この内容をお知らせするのが、「財政事情の公表」で、年2回（6月・12月）行っています。

今回は、平成14年度下半期（平成14年10月1日～平成15年3月31日）の財政運営状況の主な内容と主要な実施事業を紹介します。平成14年度下半期における財政状況は、長期的な景気低迷による個人市民税や法人市民税の伸び悩みなどにより、依然として、厳しい状況となっています。

このような状況の中で、市では、「高環境」「高福祉」のまちづくりを進めるために、実施事業の選択を行い、経費

の節減を図るとともに、歳入面においても国や都の補助金の獲得などにより必要な財源の確保に努めました。

平成14年度の一般会計当初予算は564億1935万円でしたが、最終予算では584億2922万円となり、当初より20億987万円の増となりました。また、各会計の総計では、当初965億6256万円でしたが、最終予算では992億560万円となり、当初より26億4304万円の増となりました。

平成14年度下半期に執行した主な事業と歳入歳出予算の執行状況は次のとおりです。なお、数値は平成15年3月31日現在のものです。

平成14年度一般会計歳入の状況（款別）

数字は、各款別の収入済額（ ）内は、各款別予算に対する収入率

収入済額 収入予定額

(平成15年3月31日現在)

市税 323億8,857万円 (99.4%)

歳入 予算総額 584億2,922万円 総収入済額 521億8,771万円 (収入率89.3%)

市債 4億7,230万円 (14.5%)

諸収入 19億1,018万円 (93.8%)

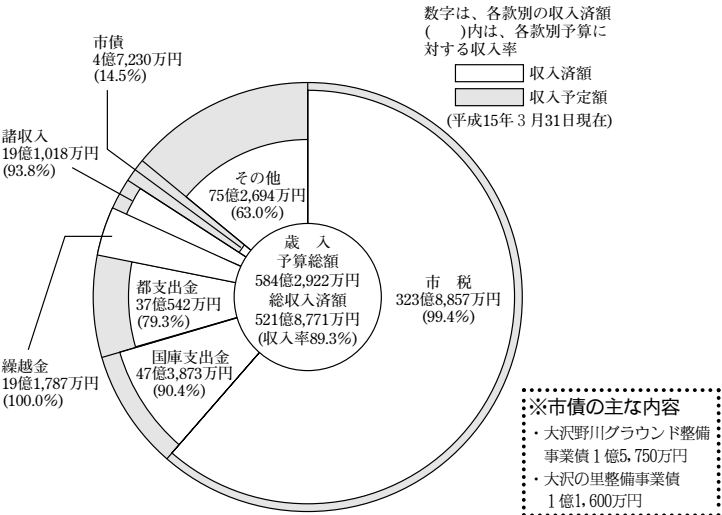
繰越金 19億1,787万円 (100.0%)

都支出金 37億542万円 (79.3%)

国庫支出金 47億3,873万円 (90.4%)

その他 75億2,694万円 (63.0%)

平成14年度一般会計歳入の状況（款別）



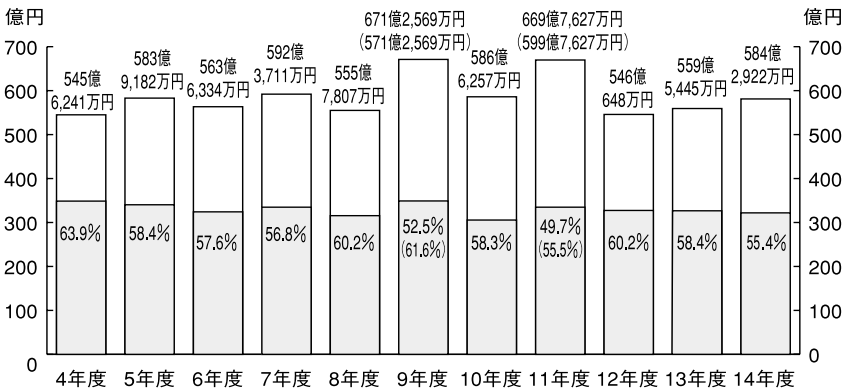
※市債の主な内容

- ・大沢野川グラウンド整備事業債 1億5,750万円
- ・大沢の里整備事業債 1億1,600万円

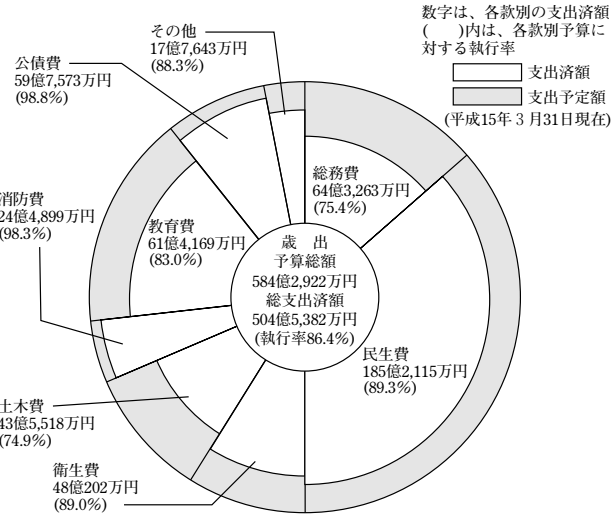
過去10年間の歳入と市税収入割合

(%は歳入に対する市税収入の割合)

(平成4年度～13年度は決算額、14年度は平成15年3月31日現在の数値)
()内数値は総合スポーツセンター（仮称）用地関連で、9年度は本債切替に伴う、11年度は借換えに伴う重複経理を除いた参考数値です。



平成14年度一般会計歳出の状況（款別）



市有財産の状況
平成15年3月31日現在

基金
92億9,620万円

土地
42,887.75㎡
(借用物件も含む)

車両
117台
(借上[電気自動車]を含む)

建物
294,246.99㎡
(借用物件も含む)

平成14年度下半期の主な実施事業

- ◆市民・企業・大学・関係機関や行政などとの協働で、IT（情報通信技術）などの先進技術を活用し、事業展開を図る「あすのまち・三鷹」プロジェクトを実施
- ◆J R三鷹駅周辺に、さくら通り第2駐輪場を整備
- ◆三鷹駅前コミュニティセンターについて、コミュニティセンター機能の拡充と高齢者給食サービスの活用などを図るため、5階に調理室およびランチルームを新設
- ◆まちづくり研究所において、「新しい協働型社会のあり方について」と「自治基本条例（仮称）の検討」の調査・研究を実施
- ◆平成14年10月から三鷹駅市政窓口の土曜開設を実施
- ◆市民センター駐車場の適正な利用・管理を図るため、駐車場入口にゲートを設置
- ◆弘済ケアセンターにおける通所介護事業のサービス向上およびバリアフリー化の充実を図るための施設整備費を助成
- ◆社会福祉法人が設置する精神障害者地域生活支援センターの整備・運営に対し、開設準備費および運営費を助成。なお、この施設では、精神障害者の日常生活支援や相談、地域住民との交流の支援などを実施
- ◆聴覚障害者・視覚障害者を対象としたIT講習会を開催
- ◆中央通りタウンプラザ内の子ども家庭支援センターのびのびひろばを、子育て支援のためのネットワークの拠点に位置づけ、総合的な相談・支援事業を実施
- ◆牟礼保育園については、平成15年度の改築、平成16年度のリニューアルオープンをめざして、設計を実施
- ◆南浦小学児童保育所の移転に伴い、新たに整備に取り組み、定員を拡充
- ◆基本健康診査の検査項目に肝炎ウイルスを追加して実施。また、65歳以上の高齢者を対象としたインフルエンザの予防接種を実施

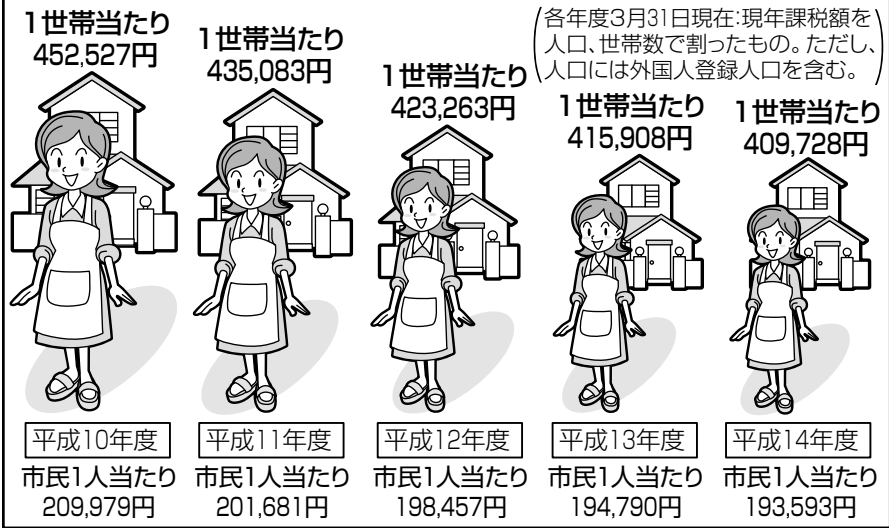
- ◆三鷹市医師会が実施する市内在住の50歳以上の男性を対象とした前立腺がん検診事業に対して助成を実施
- ◆プラスチックごみ分別収集の本格実施に向けて、試行地区を拡大（1地区→2地区）
- ◆循環型社会の形成に向けた新たな取り組みとして、市内における農産物の生産・消費・資源化の循環モデルを構築するエコ野菜地域循環モデル事業を実施
- ◆東京都が実施するアニメフェアに連携して三鷹の森アニメフェスタ2003を実施
- ◆都市計画画道路3・4・7号線（都道・連雀通り）について、東京都の「まちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用して、都費負担による用地取得に取り組むとともに、平成15年度の拡幅整備に向けた実施設計などを実施
- ◆道路里親制度を活用し、市民と協働で道路美化活動を推進
- ◆市民との協働のまちづくりとして、市民グループの緑化活動支援のためにプランター、花苗などを支給する市民緑化支援事業、公園などの美化活動を進める公園等里親事業を拡充して推進
- ◆「大沢の里」整備事業では、古民家水車用地（大沢六丁目）を計画的に買収することとし、初年度として用地取得を実施
- ◆バリアフリーのまちづくり推進事業では、引き続き推進協議会を中心に市民および事業者などと協働で調査研究を行い、バリアフリーのまちづくりの推進に関する提言書の策定
- ◆老朽化した市営大沢住宅について、平成15年度の完成をめざして建替工事を実施
- ◆三鷹市自主防災組織を中心に、市民の応急救命技能の取得を進めるほか、平成12年度から3カ年計画で取り組んでいる全職員を対象にした上級救命技能資格の取得を実施
- ◆消防団第二分団詰所（新川二丁目）

平成14年度各会計執行状況(平成15年3月31日現在)

(単位:万円)

会計名	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A×100	支出済額 C	執行率 C/A×100
一般会計	584億 2,922	521億 8,771	89.3%	504億 5,382	86.4%
国民健康保険事業特別会計	117億 6,006	110億 9,499	94.3%	105億 6,628	89.8%
下水道事業特別会計	35億 5,464	25億 6,668	72.2%	28億 1,809	79.3%
再開発事業特別会計	12億 5,183	8億 4,380	67.4%	7億 9,997	63.9%
老人医療特別会計	134億 2,910	122億 2,220	91.0%	118億 1,451	88.0%
老人保健施設事業特別会計	3億 6,711	2億 9,464	80.3%	3億 6,383	99.1%
介護保険事業特別会計	69億 8,837	60億 9,712	87.2%	55億 9,018	80.0%
受託水道事業特別会計	34億 2,527	24億 7,095	72.1%	20億 8,285	60.8%
合 計	992億 560	877億 7,809	88.5%	844億 8,953	85.2%

市税の市民負担の推移



- の老朽化に伴い、新たに用地取得のうえ、整備を実施
- ◆災害時に対応するため防災ポケットメモを作成し、全職員に配布
- ◆小・中学校自然教室の3泊4日実施校を、全小中学校に拡充
- ◆計画的に整備を進めてきた学校図書館整備について、全校整備が完了し、高山小において、記念講演会などを開催
- ◆老朽化の進んだ第一小学校について、ワークショップ方式でスーパーリニ

- ューアル整備のための基本計画を策定
- ◆第四中学校の耐震補強工事を実施
- ◆東京都の「野川大沢調節池」の底部を活用した大沢野川グラウンドについて、野球場、サッカー場、テニスコートなどの整備工事を実施
- ◆地域に根ざした新しい形のスポーツクラブとして設置を検討する「総合型地域スポーツクラブ」について、市民などによる検討委員会を開催